

F2-21

Park-PFIを用いた公園における「市民セクター」参画の影響

各務原市「学びの森」及び和歌山市「本町公園」を対象として

Impact of Citizen Sector Participation in Parks Using Park-PFI

Focusing on Kagamihara City's Manabi no Mori and Wakayama City's Honmachi Park

○菅原悠希¹, 本田薫子¹, 吉田薫澄¹, 泉山墨威²

*Haruki Sugawara¹, Kaoruko Honda¹, Kasumi Yoshida¹ and Rui Izumiyama²

Abstract : This study aims to clarify the impact of citizen sector participation in Park-PFI projects. It analyzes two parks: the Manabi no Mori, which collaborated with groups active prior to the project's introduction, and the Honmachi Park, where a new group was established at the project's launch. The case analysis revealed two key findings: First, collaborating with a citizen sector group active prior to introduction enables better understanding of park users' needs and discovery of new activity leaders. Second, regardless of the participation background, when the citizen sector proactively utilizes the park as a venue for their activities, it facilitates the provision of diverse content independent of the private operator's specific industry.

1-1. 研究の背景及び目的

近年、自治体の財政難等の課題から、自治体のみで公園を整備・管理運営することは厳しい。さらに、民間事業者による社会貢献活動の浸透や社会課題の解決に市民が参画する機運が醸成されつつあり^{注1)}、民間事業者や「市民セクター」^{注2)}等、多様な主体による公園の整備・管理運営が求められる^{注1)}。

民間事業者による公園の整備・管理運営では、2017年に、公募設置管理制度（以下、Park-PFI）が創設された。これにより、公園管理者の財政負担を軽減しつつ、公園の質及び利便向上を図ることが可能となった^{注3)}。一方、「市民セクター」による管理運営では、ボランティア活動等を通じて、地域住民による公園利用の促進や地域コミュニティ活性化等が期待できる^{注4)}。

このような中、Park-PFIを用いた公園で、民間事業者及び「市民セクター」の双方が連携する事例が見られる。このような事例では、民間事業者及び「市民セクター」の双方の参画による効果が得られると考える。

しかし、「市民セクター」と連携してPark-PFI事業を行う場合、各主体間の合意形成等に時間を要し、自治体や民間事業者の負担になるといった課題が想定される。そのため、「市民セクター」との連携が敬遠される懸念がある。そこで、Park-PFI事業における「市民セクター」参画の影響を明らかにすることで、Park-PFI事業への参画推進に繋がると考える。

以上より、本研究の目的は、Park-PFI事業における民間事業者及び「市民セクター」の関係を整理し、Park-PFIを用いた公園における「市民セクター」参画による影響を明らかにする。

1-2. 研究の方法及び研究対象

本研究は、文献調査より、民間事業者がPark-PFI導入以前から公園内で活動する「市民セクター」と連携する場合及びPark-PFI導入にあたり新たに「市民セクター」を立ち上げる場合において、Park-PFI導入の経緯及び管理運営体制を整理し、「市民セクター」の参画経緯別の影響を明らかにする。

研究対象は、自治体ホームページ等より「市民セクター」の参画が見られ、参画経緯が異なり、公園種類が同じ各務原市「学びの森」及び和歌山市「本町公園」とする。

2. 「市民セクター」参画による影響

2-1. 既存の「市民セクター」との連携による影響

(1) 学びの森の概要及びPark-PFI導入の経緯

学びの森は、岐阜県各務原市に位置する約4.2haの住区基幹公園（地区公園）である。2014年以降にイベント「マーケット日和」^{注5)}の実施があり、2016年には「マーケット日和」実行委員会を中心として、市内でのイベント企画等を担うかかみはら暮らし委員会（以下、暮らし委員会）が発足した（Figure 1）。

各務原市は、2016年に「緑の基本計画」^{注6)}を改定し、学びの森を学校教育や生涯教育の拠点として位置付けた。一方、公園周辺では、徒歩での来訪者や目的となるコンテンツの不足が課題であった。そこで、2019年2月に各務原市が商業施設誘致に向けた民間事業者対象の調査^{注7)}、同年8月に暮らし委員会が社会実験^{注8)}を実施した。これらの取組みを経て、2019年10月にPark-PFIを用いて民間事業者を公募した。特に、社会実験では「子どもが遊べる場所が欲しい」という意見が多く、

1：日大理工・院（前）・建築 2：日大理工・教員・建築

実際に子ども向けの屋内遊戯施設が整備された。

以上より、公園内でイベント等の活動経験のある「市民セクター」と連携し、公募前に社会実験を実施することで、民間事業者による利用者ニーズを踏まえた事業内容の提案に繋がると考える。

(2) 管理運営体制

公募施設は、認定計画提出者及び暮らし委員会が共同運営する。さらに、公募施設内では、「市民セクター」のART LABO CHOPSTICKS及び森の音楽室が定期的な講座を実施する^{注9)}。特に、ART LABO CHOPSTICKSは、暮らし委員会が公園内での活動に興味を持つマーケット日和や社会実験の出店者経験者に声をかけ、立ち上げた団体である (Figure 2)。

以上より、「市民セクター」によるPark-PFI導入前の活動や社会実験を通じて、公園内での活動に関心を持つ地域住民の発掘が可能であると考えられる。これにより、Park-PFI導入後、認定計画提出者の業種に関わらず、多様なサービス提供が可能になると推察される。

2-2. Park-PFI事業における「市民セクター」設立による影響

(1) 本町公園の概要及びPark-PFI導入の経緯

本町公園は、和歌山県和歌山市に位置する約1.4haの住区基幹公園 (近隣公園) である。

和歌山市は、2017年に、「第5次和歌山市長期総合計画」^{注10)}を策定し、コンパクトシティの実現を分野別目標とした。さらに、同年に立地適正化計画^{注11)}を策定し、駐車場配置適正化や公的不動産活用等の推進を掲げた。

これに伴い、本町公園では、2018年にPark-PFIを用いて、公園及び地下駐車場の整備・管理運営を行う民間事業者を公募した。また、公園の魅力向上を目的として、2019年12月に「本町公園を良くする会」(以下、良くする会)が発足した (Figure 3)。

(2) 管理運営体制

認定計画提出者は、公募施設及び特定公園施設の管理運営や、月1度の定期的なイベント「てとこと市」の運営を行う。また、良くする会は、公園内の植栽等の維持管理に加え、盆踊りや大掃除、餅つき等、公園内で多様なイベントを実施する (Figure 4)。

以上より、認定計画提出者は、公募施設の運営や定期的なイベントを通して公園での継続的な賑わいを創出する。一方、良くする会は多様なイベントを実施し、公園内での活動内容の多様化に寄与すると考える。

3. まとめ

Park-PFIを用いた公園における「市民セクター」参画の影響として、以下のことが明らかとなった。①導入

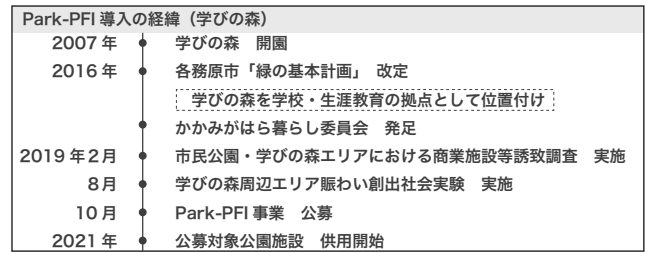


Figure 1. 学びの森における Park-PFI 導入経緯

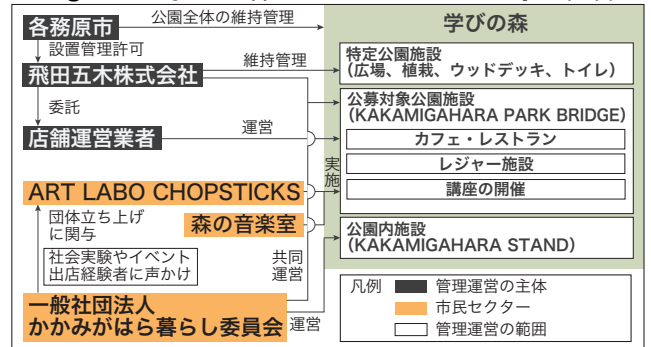


Figure 2. 学びの森の管理運営体制

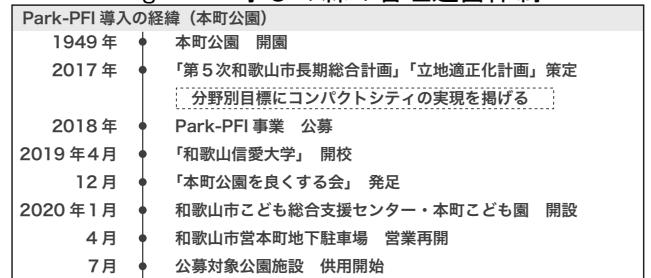


Figure 3. 本町公園における Park-PFI 導入経緯

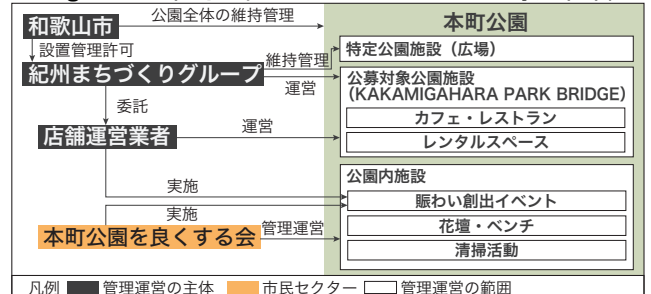


Figure 4. 本町公園の管理運営体制

前から活動する「市民セクター」と連携することで、利用者ニーズ把握や公園内での活動に興味を持つ個人の発掘が期待できる。また、②参画経緯に関わらず、「市民セクター」が主体的に公園内で活動することで、多様なコンテンツの提供に繋がると考える。

補注

- 注1) 都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会(2022)「都市公園新時代～公園が活きる、人がつながる、まちが変わる～」
- 注2) 「市民セクター」とは、公益的な目的を持ち、自主的かつ継続的に活動する地域住民等で構成された非営利団体とする。
- 注3) 国土交通省(2018)「都市公園の質向上に向けたPark-PFI活用ガイドライン」
- 注4) みんなの公園愛護会(2024)「公園ボランティア実態調査2024全国自治体編」<https://park-friends.org/-/data/research3/>(最終閲覧日2025.9.21)
- 注5) マーケット日和実行委員会事務局(2024)「各務原マーケット日和出店要項」
- 注6) 各務原市(2016)「緑の基本計画」
- 注7) 各務原市(2019)「市民公園・学びの森エリアにおける商業施設等誘致調査業務委託」
- 注8) 株式会社トルクリエイティブセンター(2019)「学びの森周辺エリア賑わい創出社会実験報告書」
- 注9) KAKAMIGAHARA PARK BRIDGE(2022)「KAKAMIGAHARA PARK BRIDGE 活動報告レポート2022」
- 注10) 和歌山市(2017)「第5次和歌山市長期総合計画」
- 注11) 和歌山市(2017)「和歌山市立地適正化計画」